

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）活用事業 【スマートロック導入（TYPE1）】

- ・ 事業概要
- ・ サービス概要
- ・ 交付金の具体的使途
- ・ 推進体制（庁内の推進体制、事業推進体制）
- ・ 事業のKPI

令和8年6月1日時点

事業概要

自治体名	愛媛県大洲市	人口	39,106人	事業費	3,012千円
事業概要	現在、市内コミュニティセンター30施設のうち14施設に管理人を配置しているが、高齢化や長時間の拘束などから、管理人の担い手不足等の影響により、事前の鍵受け渡しや近隣住民への委託など、施設の利用促進を妨げる恐れがあるため、スマートロックを導入することにより、管理人の担い手不足解消を図るとともに、予約システムと連携させることで、利用者の利便性向上に加え、災害時における緊急的な対応もでき、誰もが気軽に施設を利用できる体制を構築する。				
具体サービス	スマートロックを導入することにより、管理人の担い手不足解消を図るとともに、予約システムと連携させることで、利用者の利便性向上に加え、災害時における緊急的な対応もでき、誰もが気軽に施設を利用できることで、施設の利用促進を図る。 【サービス概要図】＜コミュニティセンター＞ 管理人選考・推薦 自治会役員等で管理人の推薦会議 管理人配置・利用 (施設開錠・施錠) 平日夜間・土日・祝日の玄関等を開錠し、退館時に施錠 施設利用 (開錠・施錠) 解除キーで施設の玄関等を開錠し、施設を利用 利用後スマートロックの施錠ボタンを押して施錠				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 スマートロックの利用回数		【アウトカム指標（成果指標）】 スマートロックの導入満足度		

サービス概要

サービス名	スマートロックの導入	事業費	3,012千円
ターゲット	コミュニティセンター管理運営者・市民等		
サービス内容	スマートロックを導入することにより、管理人の担い手不足解消を図るとともに、予約システムと連携させることで、利用者の利便性向上に加え、災害時における緊急的な対応もでき、誰もが気軽に施設を利用することで、施設の利用促進を図る。 ・施設予約システムと連携したスマートロックを導入し、オンラインで予約した利用者が鍵を借りることなく、通知された暗証番号を用いて開錠して施設を利用することができる。利用後はそのまま施錠することで鍵の返却も不要となる。このことから、市内コミュニティセンターにおける鍵の管理体制の平準化を図るとともに高齢化や担い手不足の課題解決に繋がり、施設運営者の負担軽減を図ることができる。併せて、暗証番号やシステム上の履歴により施設利用の安全性が確保できるようになる。 ・災害時における避難所開設において、施設管理者をはじめ、自治会や自主防災組織など地区住民における迅速な施設の開錠ができ、効率的な運営に繋げることができる。		

<コミュニティセンター>

管理人選考・推薦



自治会役員等で管理人の推薦会議

管理人配置・利用
(施設開錠・施錠)



平日夜間・土日・祝日の玄関等を開錠し、退館時に施錠

>

<コミュニティセンター>

施設利用
(開錠・施錠)



解除キーで施設の玄関等を開錠し、施設を利用
利用後スマートロックの施錠ボタンを押して施錠

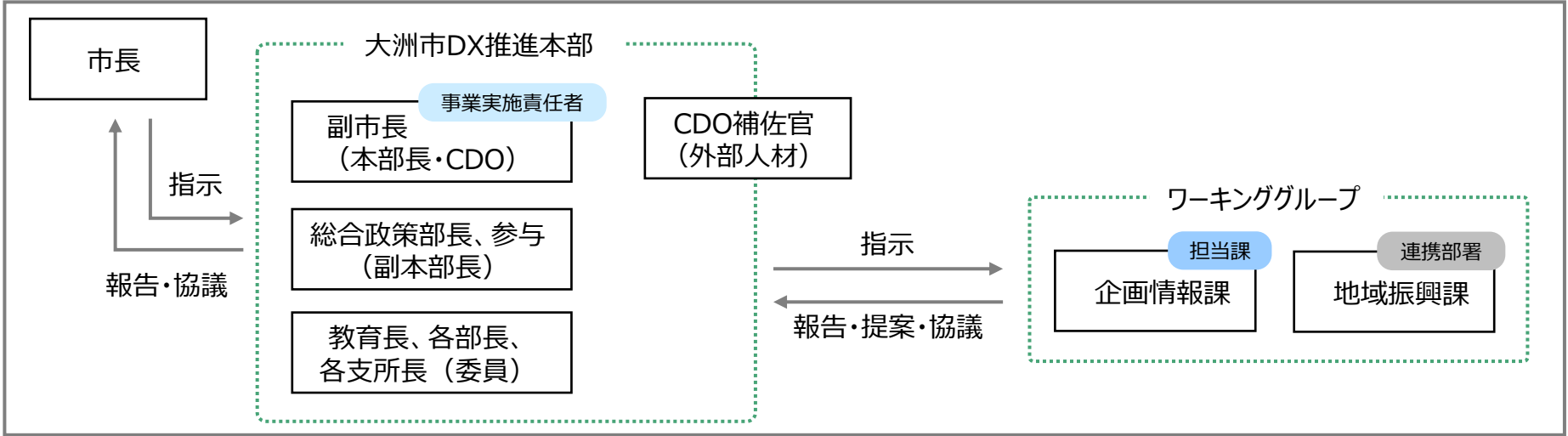
管理人の選考・推薦が不要
安全性の確保と迅速な避難所開設が可能

交付金の具体的使途

経費項目	数量	金額 (単位：円)	交付金充当額 (単位：円)
スマートロック初期導入費（予約システム）	16.5千円×6個	99,000	49,500
スマートロックサービス利用料（予約システム）	1.1千円×6個×4月	26,400	13,200
スマートロックサービス利用料（鍵管理システム）	2.2千円×6個×4月	52,800	26,400
スマートロック導入工事費（キーボックス）	6個	844,250	422,125
スマートロック導入工事費（アクセスポイント）	6個	343,000	171,500
スマートロック導入工事費（LAN配線）	6式	823,000	411,500
スマートロック導入工事費（設定費）	6式	823,000	411,500
合計		3,011,450	1,505,725

推進体制（1/2）

■ 庁内の推進体制

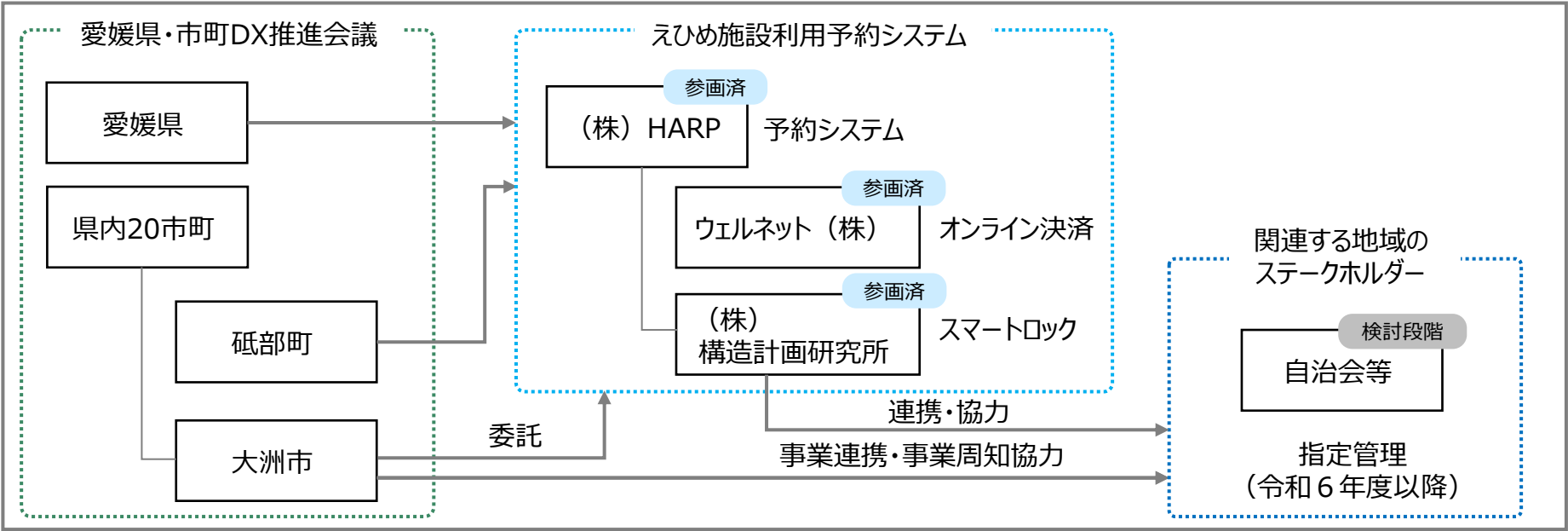


【各課室の役割】

役割	名称	具体的な業務内容
庁内DX推進体制	大洲市DX推進本部	・「大洲市DX推進計画（令和4年3月策定）」の推進、進捗管理を行う
事業実施責任者	副市長 (本部長・CDO)	・ 事業統括
補佐	CDO補佐官 (外部人材)	・ 専門的知見に基づき、事業全般についての助言や支援、サービス評価を行う
事業推進体制	ワーキンググループ	・ 本事業の関係分野を所管する部署で構成し、事業推進にあたり課題を共有・検討し、解決策の討議等を行う
事業担当課	企画情報課	・ 事業全体のマネジメント・進捗管理、システムの調達、関連部署との調整、周知広報、サービス評価・改善
連携部署	地域振興課	・ コミュニティセンターの貸館業務を所管し、スマートロック導入の予定施設の地元自治会等との検討・調整を行う。 ・ コミュニティセンター窓口や自治会だより、地域行事、各種学級講座等での周知広報を行う。

推進体制（2/2）

■ 事業推進体制



名称	役割
愛媛県・市町DX推進会議	令和3年3月「愛媛県・市町DX協働宣言」に基づき設置。愛媛県や県内20市町で情報交換や協議を行い、共通の課題に対してデジタル技術も用いた対策を実施するための会議体。
大洲市	事業計画の立案 報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括業務
株式会社HARP	施設利用予約システムの設計
ウェルネット株式会社	施設利用予約システムの中のオンライン決済機能を提供（収納代行業者）

名称	役割
株式会社構造計画研究所	施設利用予約システムの中のスマートロック機能を提供
各自治会等	事業連携 事業周知協力

事業のKPI（1/2）

■ アウトプット指標（活動指標）

KPI	スマートロックの利用回数		種別	アウトプット	単位	回
KPIの概要、測定方法	コミュニティセンター利用に伴うスマートロック利用回数。 当該年度におけるスマートロック利用回数を集計し測定する。					
事業成果等の計測に適する理由	現在、市内コミュニティセンター30施設のうち14施設に管理人を配置しているが、高齢化や長時間の拘束などから、管理人の担い手不足等の影響により、事前の鍵受け渡しや近隣住民への委託など、施設の利用促進を妨げる恐れがあることから、スマートロックの利用回数は本事業の成果測定に適している。 令和6年度は新たな地域自治組織としてスタートした直後であり、2025年度末のKPIを2044回（現状の利用回数で算出→1.05倍ずつ増加）と設定している。					
	2025年度末		2026年度末		2027年度末	
目標値	2,044		2,146		2,248	
実績値	2,295		-		-	

達成のための取組内容や工夫

主な取組として、市内各施設への丁寧な巡回を行い、職員や利用者に対して具体的な利用方法や操作手順を直接説明することで、導入時の心理的ハードルを下げるよう努めた。
併せて、市の広報誌を活用した幅広い周知を展開し、スマートロック導入による利便性向上を市民へ積極的に広報した。

今後に向けた取組

単なる導入に留まらず、満足度調査で得られる利用者の具体的な意見を精査し、利用者がストレスなく活用できる環境を整備することで、スマートロックの利用を習慣化させ、施設全体のさらなる利便性向上と運用効率の最適化を図っていく。

事業のKPI（2/2）

■ アウトカム指標（成果指標）

KPI	スマートロックの導入満足度		種別	アウトカム	単位	%
KPIの概要、測定方法	スマートロックを導入した施設の管理者及び地域自治組織によるスマートロック利用に対する5段階評価満足度の割合。 スマートロックを導入した施設の管理者及び地域自治組織を対象にアンケートを実施し、管理者及び地域自治組織の代表者に入力してもらうことで測定する。					
事業成果等の計測に適する理由	スマートロックを導入し、管理人制度の廃止による負担軽減に満足した組織が多ければ多いほど、行政への満足度向上に効果があると考えられるため。 導入を予定している施設の一部では管理人の担い手不足までに至っていない地区もあることを踏まえ、2025年度末のKPIを33%（2地区程度）と設定している。					
	2025年度末		2026年度末		2027年度末	
目標値	33		67		100	
実績値	42		-		-	

達成のための取組内容や工夫

目標達成の要因として、管理者・地域自治組織側において、「申請対応や鍵の受け渡しなどの事務的負担が軽減された」、「職員不在の時間帯でも貸し出しが可能になった」といった業務効率化の明確なメリットが共有されたこと、開館時間外や土日でもオンライン予約・開錠が可能になったことで一部の利用者層（現役世代やITリテラシーのある団体）における利便性が大幅に高まり定着に繋がったことが挙げられる。

今後に向けた取組

課題として、高齢者の操作面の不便さ、問い合わせ対応の増加があることから、高齢の利用責任者を対象とした「スマートロック説明会」や鍵ボックスの操作方法等について大きな文字と写真を用いたマニュアルの掲示など、高齢者及びIT未配慮層へのサポートの強化を図る。